

8 ユニバーサルデザイン

-
- (1) ユニバーサルデザインの認知状況
 - (2) ユニバーサルデザインへの関心度
 - (3) ユニバーサルデザインに関することで行いたい取り組み
 - (4) ユニバーサルデザインを推進していく上で必要な取り組み
-

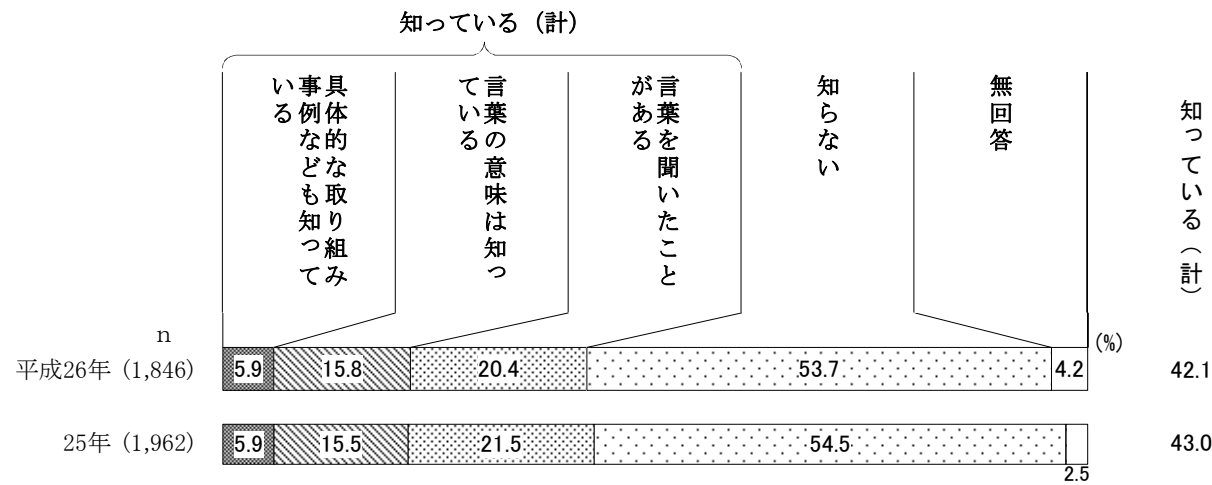
8. ユニバーサルデザイン

(1) ユニバーサルデザインの認知状況

■ 【知っている】は4割を超える

問32 ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、国籍、障がいの有無など個人の様々な状況に関わらず、できる限り多くの人が利用しやすいように配慮されたデザイン（設計）のことです。あなたは、ユニバーサルデザインについてどの程度知っていますか。
(○は1つだけ)

図8-1-1 前回調査比較／ユニバーサルデザインの認知状況



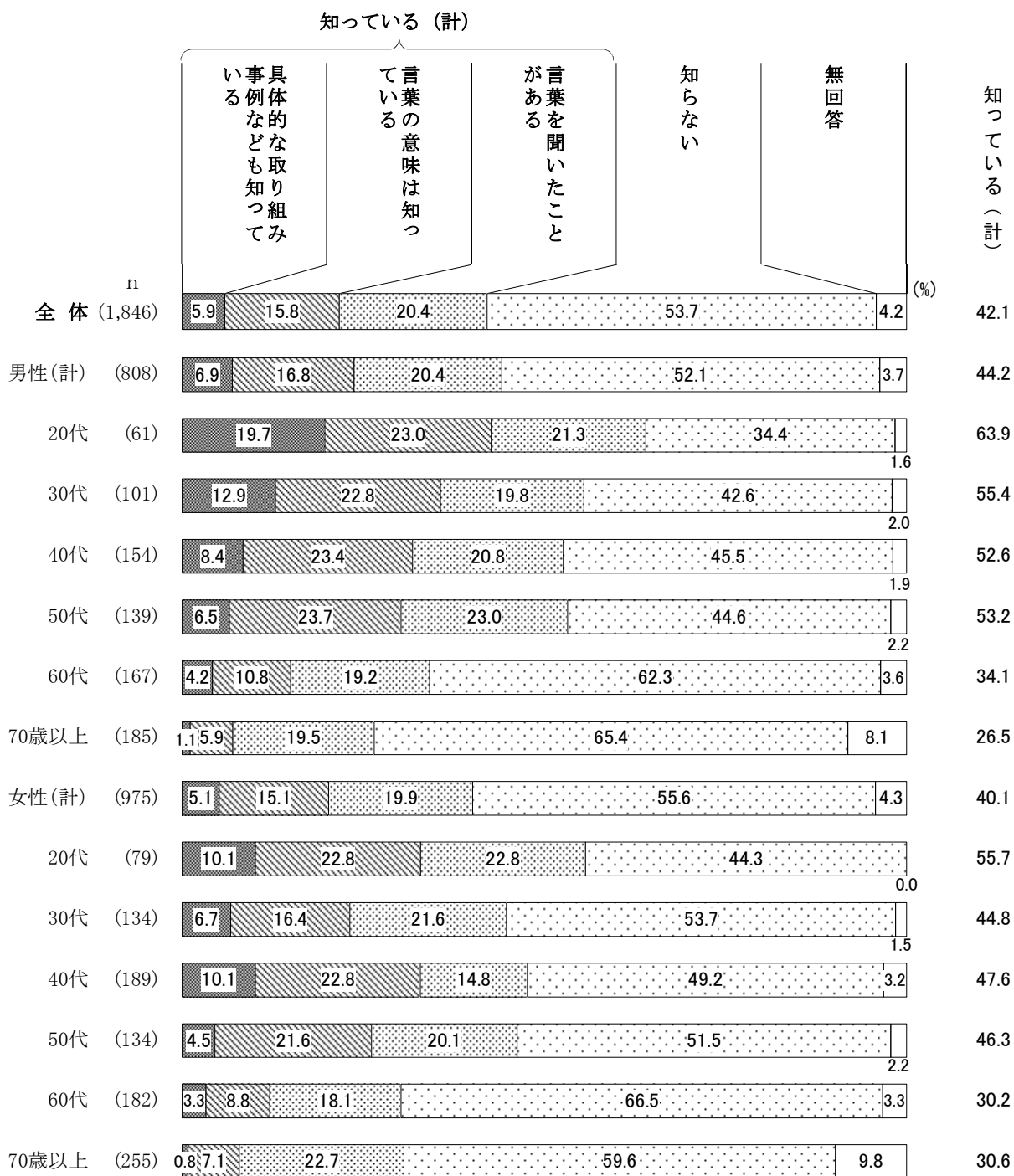
ユニバーサルデザインについて、「具体的な取り組み事例なども知っている」が5.9%で、これに「言葉の意味は知っている」(15.8%)、「言葉聞いたことがある」(20.4%)を合わせた【知っている】は42.1%となっている。一方、「知らない」は53.7%と過半数を占めている。

前回結果と比較すると、【知っている】は43.0%から42.1%と、ほぼ横ばいである。

第3章 調査結果の分析

性別でみると、【知っている】は、男性44.2%、女性40.1%と、男性が女性より高くなっている。
 性・年代別でみると、男性では、20代で【知っている】が63.9%を占めているほか、30代、40代、50代でも5割を超えている。
 女性では、20代で【知っている】が55.7%と5割を超え、他の年代より高くなっている。
 男女とも60代以上で認知状況は低くなっている。

図8-1-2 性別、性・年代別／ユニバーサルデザインの認知状況

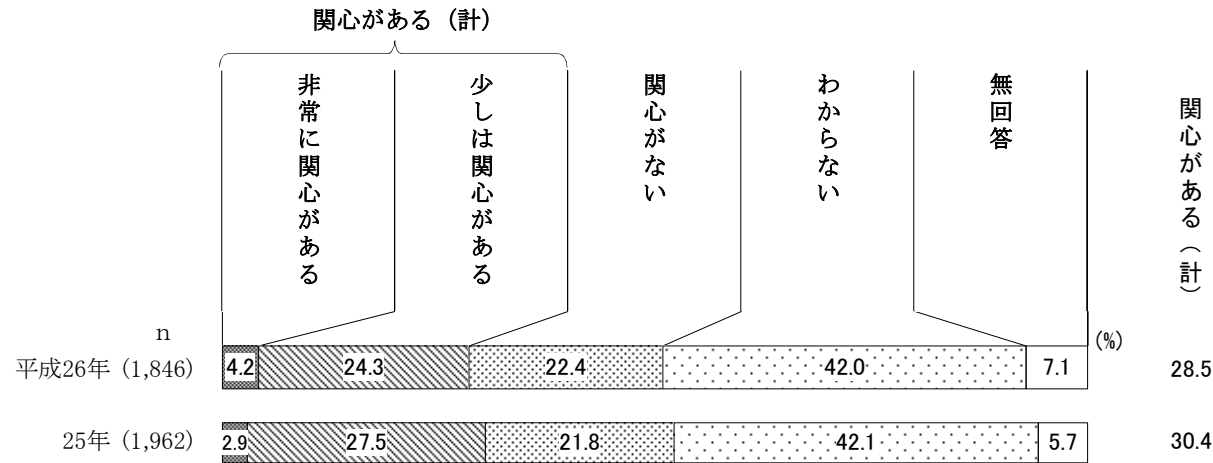


(2) ユニバーサルデザインへの関心度

■ 【関心がある】は3割弱

問33 あなたは、ユニバーサルデザインに関心をお持ちですか。(○は1つだけ)

図8-2-1 前回調査比較／ユニバーサルデザインへの関心度



ユニバーサルデザインに「非常に興味がある」が4.2%で、これに「少しは興味がある」の24.3%を合わせた【関心がある】は28.5%となっている。一方、「関心がない」は22.4%となっている。

前回結果と比較すると、【関心がある】は30.4%から28.5%と微減している。

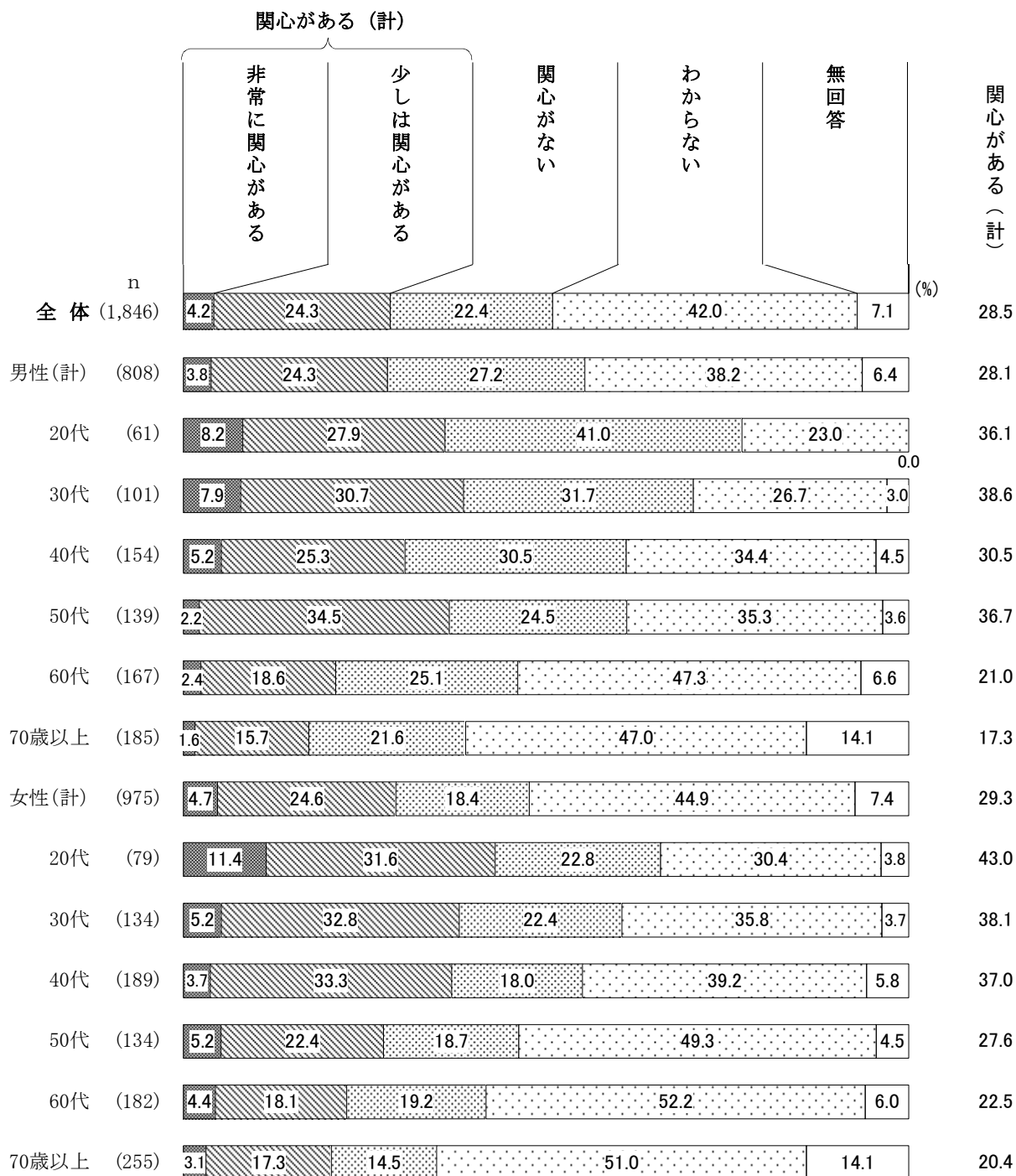
第3章 調査結果の分析

性別でみると、【関心がある】は、男性28.1%、女性29.3%となっている。

性・年代別でみると、男性では、20代、30代、50代で【関心がある】が3割台半ばを超えている。

女性では、若い年代ほど【関心がある】が増加する傾向があり、20代では43.0%となっている。
男女とも60代以上で【関心がある】が低くなっている。

図8-2-2 性別、性・年代別／ユニバーサルデザインへの関心度



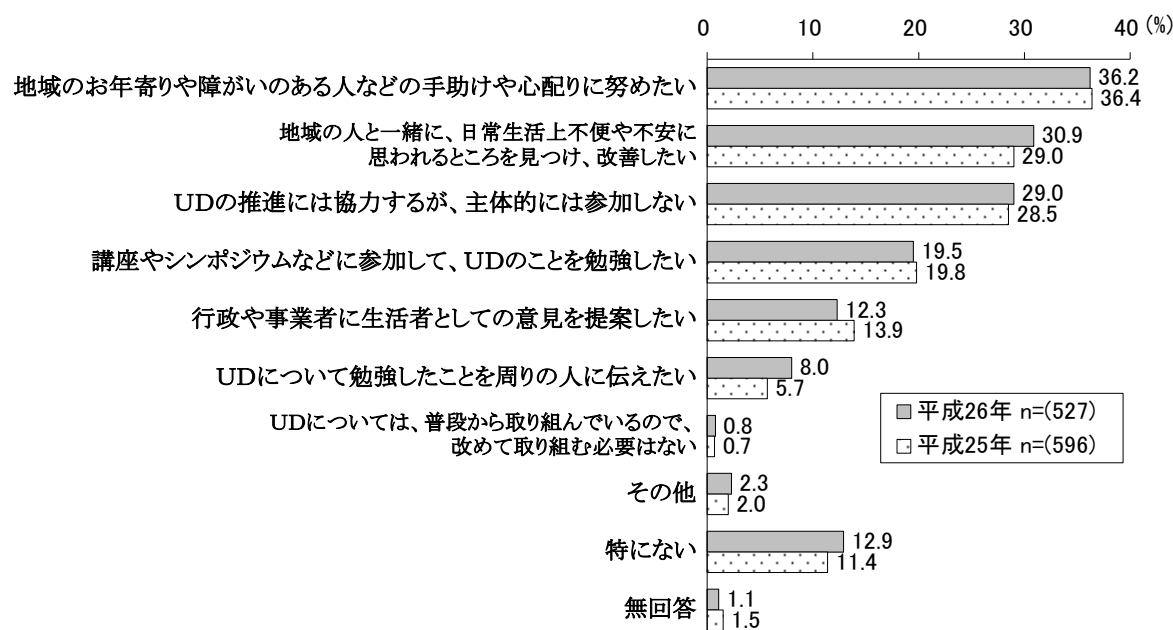
(3) ユニバーサルデザインに関することで行いたい取り組み

■ “手助けや心配りに努めたい”が3割台半ば、“地域の人と一緒に、不便や不安に思われることを改善したい”“推進には協力するが、主体的には参加せず”がともに3割前後で上位

問33で「1. 非常に関心がある」、または「2. 少しは関心がある」とお答えの方に

問33-1 ユニバーサルデザイン（以下「UD」と表記します）に関すること、今後、あなたはどのような取り組みを行いたいですか。（○は3つまで）

図8-3-1 前回調査比較／ユニバーサルデザインに関することで行いたい取り組み



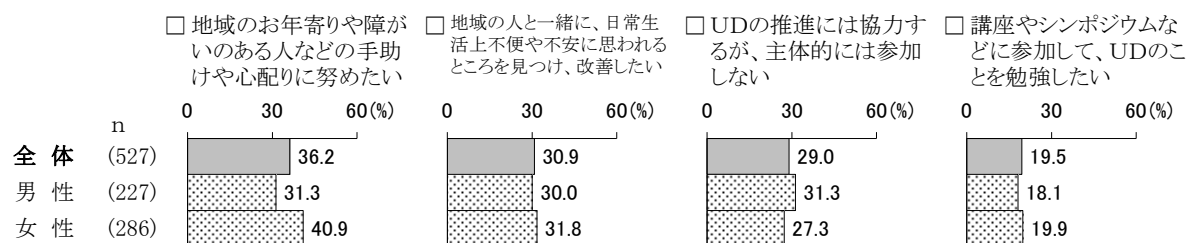
【関心がある】という人に、取り組みたいことを聞くと、「地域のお年寄りや障がいのある人などの手助けや心配りに努めたい」が36.2%で最も高く、以下「地域の人と一緒に、日常生活上不便や不安に思われるところを見つけ、改善したい」（30.9%）、「UDの推進には協力するが、主体的には参加しない」（29.0%）の順となっている。

前回結果と比較すると、「地域のお年寄りや障がいのある人などの手助けや心配りに努めたい」は36.4%から36.2%と、ほぼ横ばいである。

第3章 調査結果の分析

性別でみると、「地域のお年寄りや障がいのある人などの手助けや心配りに努めたい」は男性31.3%、女性40.9%と、女性の方が高くなっている。

図8-3-2 性別／ユニバーサルデザインに関することで行いたい取り組み／上位4項目

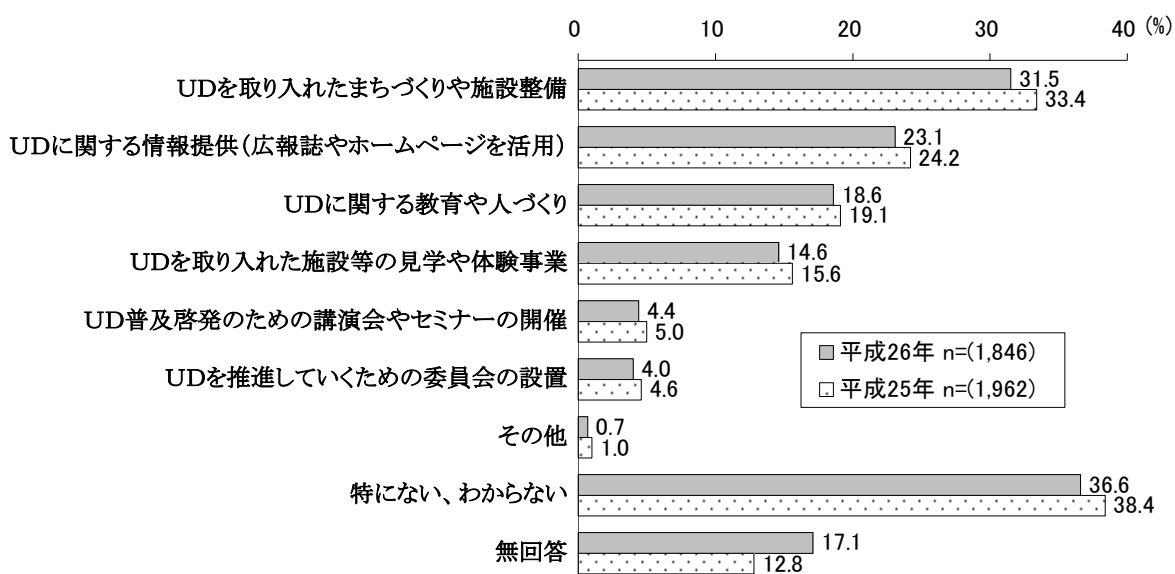


(4) ユニバーサルデザインを推進していく上で必要な取り組み

■ 「UDを取り入れたまちづくりや施設整備」が3割を超える

問34 あなたは、ユニバーサルデザイン（以下「UD」と表記します）を推進していく上で、どのような取り組みが必要だとお考えですか。（○は3つまで）

図8-4-1 前回調査比較／ユニバーサルデザインを推進していく上で必要な取り組み



ユニバーサルデザインを推進していく上で、必要な取り組みとしては、「UDを取り入れたまちづくりや施設整備」が31.5%で最も高く、以下「UDに関する情報提供（広報誌やホームページを活用）」（23.1%）、「UDに関する教育や人づくり」（18.6%）の順となっている。

前回結果と比較すると、すべての項目で微減している。

第3章 調査結果の分析

性別でみると、上位4項目について、大きな男女差はみられない。

性・年代別でみると、男性の場合、「UDを取り入れたまちづくりや施設整備」は、20代、40代で、それぞれ50.8%、41.6%と高くなっている。

女性の20代、30代、40代で「UDを取り入れたまちづくりや施設整備」が4割を超えている。また、20代では、「UDに関する情報提供（広報誌やホームページを活用）」が35.4%と、他の年代より高くなっている。

図8-4-2 性別、性・年代別／ユニバーサルデザインを推進していく上で必要な取り組み

／上位4項目

